

季節の花を用いた大型空間ディスプレイの制作

フラワーファクトリ科

3年草花A班 12名

1、目的

近年花業界で求められる人材はフラワー装飾に関する技術を幅広く持っていることであり、従来の西洋から伝わったフラワーアレンジメントの知識や技術だけでなく、日本古来より継承されてきた華道の技術を持っていることが有効である。本研究では、長年花業界に携わってきた専門家の方から講義および指導を受け、実際に制作することを通して広い空間を飾る大型ディスプレイの制作技術を身につけることを目的としており、1年時より3年間継続して実施している内容である。

2、実施内容

回数	実施時期	実習内容	場所	制作単位
1	平成2年度 秋	剣山方式	本校 農業管理棟	個人
2	令和3年度 秋	投げ入れ方式	本校 農業管理棟	個人
3	令和3年度 冬	投げ入れ方式（大作）	本校 玄関ホール	1～2名 1組
4	令和4年度 春	入学式の舞台装飾 （投げ入れ方式（大作））	本校 体育館	1～2名 1組
5	令和4年度 秋	投げ入れ方式	本校 農業管理棟	個人
6	令和4年度 秋	投げ入れ方式（大作）	池田城跡公園	1～2名 1組
7	令和4年度 冬	投げ入れ方式（大作）	本校 玄関ホール	1～2名 1組

3、作品写真

令和4年度 秋（令和4年10月30日） 池田城跡公園



令和4年度 冬（令和5年1月26日） 本校玄関ホール



4、感想（一部抜粋）

- ・華道をプロの方から教えて頂くという普通の高校では出来ない事が経験できて、とても勉強になった。池田城跡公園の装飾に関しては、地域の方など色々な人に見て貰え、また声をかけて頂けたことが嬉しかった。
- ・お城の装飾など花屋さんでも経験出来るか分からないことも経験できて良かった。それに、入学式の舞台の装飾など誰かの人生の門出となる場所を装飾出来る事が素直に嬉しかった。